

「第21回八戸市少年少女発明クラブロボットコンテスト」

八戸市少年少女発明クラブ

年明け最初の活動日1月9日(成人の日)は待ちに待ったクラブロボコンを行いました。
クラブ員は春から学んできた工作知識を生かして、11月からロボット作りを始め、一年間の活動の集大成としてロボコンに臨みました。

ロボコンは自分で考え、自分の手で作り、自ら操作を行う、ものづくりの楽しさ・すばらしさを学べる発明クラブのコンセプトに合致した活動です。

八戸市は中学生ロボコンの発祥の地でもあり、競技ルールから試合コートまで、全てクラブ指導員が考案・作成した八戸独自のロボコンを平成8年より継続して行っています。

「八戸のロボコンの特徴」

- ロボコンの「作る楽しさ」「協力する重要性」
- 観客に見せることを意識した「勝ち負けより魅せるロボコン」
- ロボットの駆動に電力リミッター(消費電力監視システム)を採用した「省エネ型ロボコン」
※ロボットが使用できる電力に制限があるので、限られた電力を無駄にしないための操作技術、電力の有効利用が見どころとなっています。

一昨年から地域のショッピングセンターラピア様に会場を提供していただいて大会を行っています。会場の一角には、年4回発行しているクラブだよりや発明くふう展入賞作品紹介の展示も行い、多くの一般の皆様クラブ活動を周知することができました。

今年度の小学生部門の競技は「ロボットスマートボールⅡ」です。(競技概要詳細はプログラム参照)

まずは、小3～6年生22名が予選トリアル「ビンゴをめざせ」に挑戦しました。

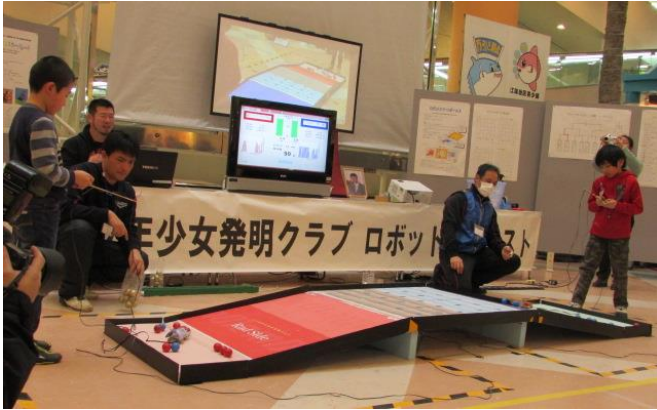
スタート時の10個の玉をすべて入れるか、たて・横・ななめのビンゴを完成させるとボーナスボールが追加されます。

ビンゴ1列につき10点のボーナスポイントも獲得できるので、リーチになると、選手だけではなく、会場も白熱した雰囲気。

また、ロボットは乾電池ではなく電力リミッターを使って行うので、終了前に電力を使い切ってしまった児童はくやしい表情を見せていました。



決勝トーナメントは各学年 1 位と獲得ポイント上位者の計 8 名による「陣とり合戦」です。



坂を登って、25 個の穴を取り合いますが、勢いよく玉を運ぶと相手陣地に転がり落ちてしまうことも。

会場はロボットの動きとモニターの電力残量、タイマーにドキドキはらしながら、熱戦を繰り広げた選手達に大きな拍手を贈っていただきました。

【クラブ員の感想】

・ぼくはよせんで S 君とたいせんして、7 対 4 というふまんののこるけっかではいぼくしてしまいました。S 君は決勝(トーナメント第 1 試合)で負けてしまい、ぼくは S 君に勝ってほしいと思っていたのでざんねんでした。(小 3 男子)

・いっしょうけんめいやったけど、さいごのほうで動かなくなって 1 点もとれなくて、くやしかったです。来年はかっこよく早く走るロボットにしたいです。ともだちのロボットがとてもよく走っていたからです。今日のしっばいを次におけて、どうしてそうなったかを調べます。(小 3 男子)

・初めてロボコンに参加して、そざいが軽くないと動きがにぶくなることがわかった。左右のバランスを考えて作らないとちゃんと進まないことがわかった。考えずにロボットを動かしても点が入らず電力が無くなることもありそうた。(小 4 男子)

・去年より坂の高さ(ハンディ)があったけれど、去年より玉をたくさん入れることができました。上級のパフォーマンスカーはぐるぐる回ったり、上下左右に動いて、すごいと思いました。(小 5 男子)

・ザリガニをリアルに表現できました。ザリガニのはさみの角度を変えてうまく玉を押せるようにしました。中学生はクランクきこうやデザインもすごいと思いました。次のロボット作りもがんばりたいです。(小 5 女子)

・ロボットを作って、作り方に心がこもっていないとロボットが応えてくれないことがわかった。今回は全然自分を生かしきれなかったから、次は大いに生かそう。もっと性能を上げて挑みたい。(小 6 男子)

【競技結果】

第1位 小 4 藤森 貴志
第2位 小 6 高橋 蒼空
第3位 小 3 小野寺 悠人

デザイン賞(中学年の部)
「えんぷり GO」 小 4 館合 望
デザイン賞(高学年の部)
「ザリガニ号」 小 5 工藤 凜

中学生は八戸三社大祭のユネスコ無形文化遺産登録決定を祝して、地域の魅力をテーマにしたからくりパフォーマンスカーでのパレードを披露しました。



「青森の祭」をPR中

大会では、4チームがテーマやからくり機構をPRした後、操縦者と実況解説に役割分担をしてパフォーマンスを行いました。

一般の方に制作した作品に説明することにより、自らもより作品への理解が深まり、これらの活動は現代の子どもたちに不足しているといわれるコミュニケーション能力や実社会で役立つプレゼンテーション能力を鍛えることにもつながっています。



「地元八戸の三社大祭のお通りです。獅子舞の歯打ちの音にこだわりました。」



八戸のイカ、前沖サバ、海の幸が自慢の八戸市。せんべい汁は B-1 グランプリで金賞。「B 級グルメなめんなよ！」



「青森県産大集合」はチャレコン全国大会出場=銅メダル報告を兼ねて披露しました。

ご来場の皆様、大きな声援・温かい拍手、ありがとうございました。